

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	RILEM 小委員会	主 査 名：今本 啓一 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会	委員長名：橘高 義典
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的：RILEM における活動に対する情報収集を行い、建築材料および試験方法に関する国際的な研究動向を把握し、国内の研究者・技術者に周知することによって、我が国の当該分野の研究の発展に寄与するとともに、RILEM を通じて日本建築学会の研究活動を国際的に伝達・普及するための活動を行う。</p> <p>活動計画</p> <p>初年度：RILEM Week および RILEM TAC、DAC および総会などに出席し、情報収集を行い会員に紹介するとともに、RILEM を通じて日本建築学会の活動を世界に発信した。(実施済内容)</p> <p>2 年度：前年度の活動を継続するとともに日本主導で設立した WG の活動をサポートする。</p> <p>3 年度：前年度の活動を継続する。</p> <p>4 年度：前年度の活動を継続する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：今本 啓一 (東京理科大学) 幹事：濱崎 仁 (芝浦工業大学) 委員：石川 嘉崇 (明治大学)、兼松 学 (東京理科大学)、閑田 徹志 (鹿島建設)、下澤 和幸 (日本建築総合試験所)、白井 篤 (東京家政学院大学)、道正 泰弘 (名城大学)、中島 史郎 (建築研究所)、西脇 智也 (東北大学)、野口 貴文 (東京大学)、細川 佳史 (太平洋セメント)、三島直生 (建築研究所)、宮内博之 (建築研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	RCS (構造物の保存に関する国際会議) 支援 WG・RILEM Week 支援 WG：2022 年 9 月 4 日～9 日に京都において RILEM Week が開催される。またこの開催にあたって並行して国際会議を開催する。建築学会材料施工本委員会傘下の RILEM 小委員会に本 WG を設置し支援する。	
2022 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/zairyous3/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6 回 (年度内計画および WG を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	総会に出席し、TAC、DAC に関する情報を収集した
委員会活動の問題点 ・課題	